

第255回 令和8年6月22日（月）

「やったことが悪いのか、やった人が悪いのか。」

最近社会の許容範囲がすごく狭くなっている気がします。何か失敗すると人格そのものを否定して徹底的に攻撃する風潮があります。人間は一つの行動だけで判断されるほど単純な生き物なのではないでしょうか。

私はあまり他人を嫌いになることがありません。というより他人を嫌いでい続けるエネルギーがないというほうが正しいかもしれません。

もちろん他人に対して「嫌だな」と思う瞬間はあります。テレビを観ていて「この人の発言許せない」と感じることもあります。だけどそれをずっと攻撃し続けるエネルギーはありませんし、ほとんどのことは忘れてしまいます。

SNSで相手を攻撃し続ける人は、それだけ長い時間その人のことを考え続けているということです。好きであれ嫌いであれよっぽどその人に関心があるのだと思います。

他人に関心を持つのは悪いことではありません。でもその時間やエネルギーの半分でも自分に関心を向ければ、もっと違う人生になるような気がします。

人生は長いようで短いので、私くらいの年齢になると残された時間は決して多くありません。お金や名誉より「時間」が大切なことがよくわかります。

「時間」を誰のために使うのか、それは自分のために使うのが一番だと思いますし、やりたいこと、今からでもなりたい自分に向けて努力したほうが良いことは明らかです。

失言してしまった人も、人の道に外れた行為をしてしまった人も、誤った行動をしてしまった事実は消せません。だからこそ過ちを繰り返さないよう、しっかり責任を取って反省をすればいいのだと思います。

反省をするために自分の時間を使っている人に対して、わざわざ何度も攻撃をする必要はないと思います。精神的に折れて立ち直れなくなって、他人に対して恐怖を感じるほど攻撃をして、それで何か満足が得られるのでしょうか。

失敗した人に学び、自分が同じ過ちを犯さないようにしようと思うだけで十分ではないでしょうか。いまの世界は「赦し」が減っているような気がして、少し寂しい気持ちになります。